

もいかわ通信

平成28年度 第96号
3月6日 発行
岩手河川国道事務所 盛岡出張所

〒020-0862
盛岡市東仙北一丁目11-11
TEL 019-636-0444

戻ってきてね、サケの赤ちゃん!



杜陵小学校の皆さん

3月1日(水)中津川の中の橋下流で、杜陵小学校の皆さんがサケの稚魚の放流会を行っていました。

この放流会は本町振興会が主催しているもので、毎年行われています。春の放流会に向けて10カ所にある水槽でサケの赤ちゃんを育てているのだそうです。

放流した稚魚は成長し、4年後に河口から200キロも遡上して中津川に戻ってきます。街の中心部を流れる川でサケが産卵する貴重な光景は、盛岡の清流の象徴となっています。

児童たちは、それぞれ声をかけながらサケの赤ちゃんを中津川に送り出していました。



行ってらっしゃい!!
また戻ってきてね~



4年後に戻って来ることを願いながら送り出しました

中津川のサケを地域の資源に

岩手河川国道事務所では、中津川に遡上するサケを地域の資源としたまちおこしの取組みとして、サケを題材とした広報ツール「もりおか中津川サケ物語」の作成をすすめています。

小学生の学習や、観光客に活用してもらおう事を想定し、中津川とサケについての情報を写真やイラストを多く取り入れた分かりやすい内容で、20ページの冊子タイプのものが出来る予定です。

3月2日(木)は、最終回となる4回目のワークショップが開催されました。これまでのワークショップで、延べ100名を超える関係者の方々に検討した内容をりまとめ、発行に向けた最終確認が行われました。



中津川を泳ぐサケたち



ワークショップの様子